

事業番号	06 03 05	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	河川・湖沼等水質保全対策推進事業費			担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト	6-4-3 誇りある暮らし実現プロジェクト		課・局・室	水大気環境課		
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全 1 水・大気環境の保全		E-mail	mizutaiki@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5-1 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり		実施期間	S47年以前 ~		
	施策展開	4-(2) 信州に根付くつながりの継承 (イ) 住民主導による地域の活性化					

1 事業の概要

目指す姿	県内の河川、湖沼及び地下水の水質汚濁状況を常時監視し、工場・事業場の排水による水質汚濁を防止することにより、良好な水環境の保全を図るとともに、人の健康に及ぼす影響を未然に防ぐ。 【達成目標(平成29年度):河川環境基準(BOD)達成率98.6%、湖沼環境基準(COD)達成率60.0%】		
現状(予算編成時)	・平成26年度末現在10,844の工場・事業場に対して1,249件の立入検査を行い、不備事項は改善指導し是正させたことで、排水の管理が図られてきている。このような工場等への監視指導に加え、河川・湖沼の浄化対策に取り組んできた結果、平成26年度は、河川の環境基準達成率(BOD)は94.4%と良好な状況にあり、湖沼は環境基準達成率(COD)が40.0%と河川と比較して低いものの、長期的には改善傾向にある。 ・地下水は、毎年調査地点を変えて5年で県内を一巡するように調査しており、一部で有機塩素系化合物、硝酸性窒素等による汚染は見られるものの、5年間の平均達成率は95.0%となっている。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 県民との協働による実施: 実施中	【左記の説明、根拠法令等】 水質汚濁防止法、湖沼水質保全特別措置法、公害の防止に関する条例、長野県水環境保全条例	
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) ・河川、湖沼及び地下水の水質常時監視を実施し、河川は良好な水準を維持するとともに、湖沼は湖内の水の入れ替えが容易ではなく短期間での改善は困難であるが、環境基準達成率の向上を目指す。 ・地下水は毎年調査地点が変わるため環境基準達成率の変動が大きい、地下水の水質保全を図る。		
	② 事業内容 (単位:千円)		
	項目	実施方法	H28事業実績
			H28 (当初) H28 (決算) H29 (当初)
	排出源監視指導事業(水)	直接	工場・事業場からの届出内容の審査指導や立入検査、排水の基準適合検査を実施(立入検査件数:1,246件)
水質常時監視事業	直接委託	県内の河川及び湖沼の水質の汚濁状況を把握するため、水質検査を実施(委託先:(一社)長野県薬剤師会ほか6社)	43,303 39,892 48,583
湖沼水質保全事業	直接委託	湖沼水質保全特別措置法で指定湖沼に指定されている諏訪湖に関して、汚濁負荷削減状況調査、諏訪湖環境改善検討事業、諏訪湖の貧酸素対策効果シミュレーション事業等を実施(委託先:諏訪湖漁業協同組合ほか1社)	5,746 8,547 25,457
地下水常時監視事業	直接委託	県内の地下水の水質の汚濁状況を把握するため、地下水の水質検査を実施(委託先:(一社)長野県薬剤師会ほか6社)	3,576 3,166 2,955
		合計	57,944 56,207 82,628

事業	区	分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	0	0	0	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	81,409	57,944	82,628				目標	成果	達成状況	
		補正予算	-5,505	-32		河川環境基準(BOD)達成状況	94.4%	97.2%	98.6%	98.6%	達成	98.6%
		合計(A)	75,904	57,912	82,628	湖沼環境基準(COD)達成状況	40.0%	40.0%	53.3%	38.5%	未達成	60.0%
	コスト	一般財源	47,803	53,951	82,628	地下水環境基準(概況調査)達成状況	96.7%	96.9%	95.0%	97.0%	達成	—
		県債	24,000	0	0							
		国庫支出金	3,995	3,870	0							
		その他	106	91	0							
	決算額(B)	72,495	56,207									
概算人件費	職員数(人)	16.00	16.00	15.68								
	概算人件費(C)	132,416	126,624	124,092								
	概算事業費(B(A)+C)	204,911	182,831	206,720								

目標に対する成果の状況	・河川・湖沼の水質の環境基準については、工場・事業場への立入検査による改善指導、農地での減肥対策や保安林の整備といった非特定汚染源対策などの効果により、河川の環境基準達成地点数が増加し、目標値を達成した。湖沼においては約半分の湖沼でCOD濃度が前年度比で小さくなるなど改善がみられるものの、目標値の達成には至らなかった。 ・水質の環境基準達成率は、河川及び地下水については高い水準にあり、概ね良好な水環境が保全されている。一方、湖沼については、達成率が低位となっているため、関係市町村、団体及び地域住民とともに水質保全対策を推進していく必要がある。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・河川・湖沼・地下水の水質保全対策については、信州型事業仕分けの結果を踏まえ、水質検査業務の民間委託を拡充してきた。今後、民間事業者への発注内容について検討を加え、より効率的な検査業務に反映させていく。 ・第5次長野県水環境保全総合計画等に基づき、工場・事業場排水対策や生活排水対策を推進するとともに、農地や市街地など非特定汚染源に対する調査や対策を行い、湖沼の環境基準未達成地点の解消に努める。 ・諏訪湖において、湖内の貧酸素の状況を把握し、改善手法に関する調査研究を推進していく。
--------------------	---